

2025 年度（第九期） 事業報告書

（2024 年 10 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日まで）

公益財団法人 増屋記念基礎研究振興財団

2025 年度の事業報告は、公益財団法人として 5 度目の年間事業報告となります。2020 年 4 月に公益財団法人の認定を受け、さらなる財団事業の公益性の向上と運営基盤の確立に努めて参りました。今後も引き続き、日本の工学の基礎研究者に対するバックアップを行い社会に貢献する財団を目指したく存じます。

2025 年 10 月上旬に、大阪大学特任教授 坂口志文先生がノーベル生理学・医学賞を、京都大学特別教授 北川進先生がノーベル化学賞を受賞されることが決定いたしました。明るい話題に我々も希望が満ち溢れて参ります。しかしながら、成功の要因は“不断の努力”であることは当然のこととしても、坂口 特任教授は「非常にラッキーなことに、ひとつ財団の奨学金が当たりました。」とお話しされ、また、北川 特別教授は「基礎的な研究経費というのは、それなりにありました。」とお話されておりました。もちろん研究資金が全てではありませんが、基礎研究に対する研究費支援の重要性とともに、当財団の方針の正当性と社会的存在価値を再認識することができたように思います。

さて、2025 年度におきましては、増屋記念基礎研究振興財団として 9 回目となる助成金事業を実施し、工学の基礎研究を志す個人・団体に対し支援を行いました。2025 年度の助成金の募集につきましては、持続可能な社会の実現が急務であることを鑑み、2024 年度に引き続き“エネルギーや地球環境の問題を解決するに役立つであろう分野”を助成対象といたしました。この分野は今まさに人類が直面する火急でかつ最も重要な社会的課題であると言えます。2025 年度の助成金は、このような課題に直接的あるいは間接的に取り組み、循環型社会を目指し 環境にやさしいサステナブルな社会に貢献すると思われる研究に助成を行いました。

基礎研究に対する助成金事業は 時代の要請でもあり、より良い社会の実現と 我が国の繁栄に繋がる原点であると考え、今後益々鋭意努力し 事業に取り組んで参ります。

2025 年度 助成事業について

1) 成果報告書について

2024 年度は 18 件の基礎研究に対し助成を実施しておりますが、2025 年度はその 18 件の基礎研究においての『成果報告』を受けております。

(提出期限は 2025 年 5 月末、期限内に未着のものは研究者に確認し 全研究分受領済)

※ 成果報告はホームページに掲載しています。

<https://www.masuyakinen.org/jyosei-list-seika2024.html>

2) 2025 年度の“工学の基礎研究に対する研究助成”の募集内容については、公益財団法人増屋記念基礎研究振興財団のホームページ<<https://www.masuyakinen.org>>に掲示すると同時に、事業エリアにある大学の研究所に対し郵送による告知を行いました。

<告知先>

1	京都大学 国立大学	京都	工学部
2	京都工芸繊維大学 国立大学	京都	工芸科学部
3	京都府立大学 公立大学	京都	リエゾン部門 (担当部署)
4	大阪大学 国立大学	大阪	工学部
5	大阪公立大学 公立大学	大阪	工学部
6	神戸大学 国立大学	兵庫	工学部
7	兵庫県立大学 公立大学	兵庫	工学部
8	奈良女子大学 国立大学	奈良	理学部
9	滋賀県立大学 公立大学	滋賀	工学部
10	和歌山大学 国立大学	和歌山	システム工学部
11	奈良先端科学技術大学院大学 国立大学	奈良	先端科学技術研究科
12	立命館大学 私立大学	京都	情報理工学部・理工学部
13	同志社大学 私立大学	京都	理工学部
14	龍谷大学 私立大学	京都	理工学部
15	京都産業大学 私立大学	京都	コンピュータ理工学部・理学部
16	関西大学 私立大学	大阪	システム理工学部・化学生命工学部
17	近畿大学 私立大学	大阪	理工学部・生物理工学部・産業理工学部
18	摂南大学 私立大学	大阪	理工学部
19	大阪工業大学 私立大学	大阪	工学部

20	大阪電気通信大学 私立大学	大阪	工学部
21	関西学院大学 私立大学	兵庫	理工学部
22	甲南大学 私立大学	兵庫	理工学部
23	大和大学 私立大学	大阪	理工学部
24	京都先端科学大学 私立大学	京都	工学部

合計 24 校

※対象：近畿 2 府 4 県（対象エリアは定款による）の工学系研究機関のある大学
京都府 / 大阪府 / 兵庫県 / 奈良県 / 滋賀県 / 和歌山県

3) 2025 年度は“工学の基礎研究に対する研究助成”の募集に対し、69 件の助成金申請がありました。審査によりその中から 16 件を採択し、金額にして 990 万円の助成を行いました。

採択しました対象者と研究内容は以下のとおりです。

<2025 年度 採択者リスト（16 名、全応募者 69）>

- 01 立命館大学 理工学部電気電子工学科 半導体材料科学研究室 教授 荒木 努 様
テーマ：「Sc 系 III 族窒化物材料の MBE 法による低温結晶成長技術開発」
- 02 京都工芸繊維大学 分子化学系 有機分子材料化学分野 准教授 櫻井 庸明 様
テーマ：「発光型太陽光集光器および太陽光波長変換フィルムへの応用を指向した有機発光体—高分子複合材料の開発」
- 03 近畿大学 農学部環境管理学科 環境化学研究室 教授 城島 透 様
テーマ：「非可食バイオマスからの有用物質生産に特化した発酵微生物の開発」
- 04 関西大学 システム理工学部物理・応用物理科 環境デバイス物理研究室
准教授 山本 真人 様
テーマ：「振動ニューラルネットワーク応用に資する超省エネルギー相転移発振器の開発」

- 05 立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構 准教授 下田 景士 様
テーマ：「コンバージョン反応を利用した高出力型全固体リチウムイオン電池の開発」
- 06 大阪大学 理学研究科高分子科学専攻 高分子凝集系科学講座 准教授 高橋 倫太郎 様
テーマ：「重合と自己組織化の理解に立脚した高分子微粒子の分解挙動の制御」
- 07 京都大学 大学院理学研究科 光物理化学分科 准教授 熊崎 茂一 様
テーマ：「光合成膜の構造と機能の理解に向けた蛍光性分子と非蛍光性分子の
多元的相関顕微分光イメージングの実現」
- 08 大阪大学 基礎工学研究科 物質創成専攻 准教授 鈴木 修一 様
テーマ：「動的発光性金属錯体イオン集積体を利用した省エネルギー型発光センサーの創製」
- 09 奈良女子大学 研究院自然科学系化学領域 生物無機化学研究室 教授 藤井 浩 様
テーマ：「酵素の機能発現機構を基盤とした金属錯体触媒の開発と
メタンの有効利用法の開発」
- 10 大阪工業大学 工学部 電気電子システム工学科 准教授 小山 政俊 様
テーマ：「カーボンニュートラルを目指した次世代パワーデバイス応用に向けた
酸化ガリウム高電子移動度トランジスタのための結晶成長技術に関する研究」
- 11 大阪大学 大学院基礎工学研究科 固体電子工学講座 准教授 山田 晋也 様
テーマ：「バンド間トンネル現象を利用した
低電圧動作縦型ゲルマニウム磁気抵抗素子の開発」
- 12 大阪大学 大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻 マテリアル科学コース
博士研究員（日本学術振興会 特別研究員(PD)) 俊 和希 様
テーマ：「水素スピルオーバーによる CO₂ 資源化触媒の革新」
- 13 京都大学 工学研究科材料工学専攻 ナノ構造学分野 准教授 野瀬 嘉太郎 様
テーマ：「カルコパイライト砒化物の熱電特性向上に向けた動的不純物相エンジニアリング」
- 14 大阪大学 大学院基礎工学研究科 物質創成専攻 教授 福井 賢一 様
テーマ：「省エネルギーに資する電気二重層有機分子膜電解効果トランジスタ界面での
キャリアトラップの定量可視化」

15 大阪公立大学 大学院工学研究科 物質化学生命系専攻 教授 齊藤 丈靖 様
テーマ：「廃棄シリコン由来粒子の表面構造改質による次世代二次イオン電池用負極材の
高容量・長寿命化」

16 大阪大学 大学院理学研究科 物理学専攻 助教 上田 浩平 様
テーマ：「貴金属フリー酸化物材料を用いた高効率スピン流生成」

(順不同)

以上、 採択件数：16 件 助成金合計：990 万